



# 花のしおり

石川県立金沢伏見高等学校  
図書委員会  
令和元年 5月22日発行

図書だより  
128号

## 『春惜しむ』(はるおしむ)

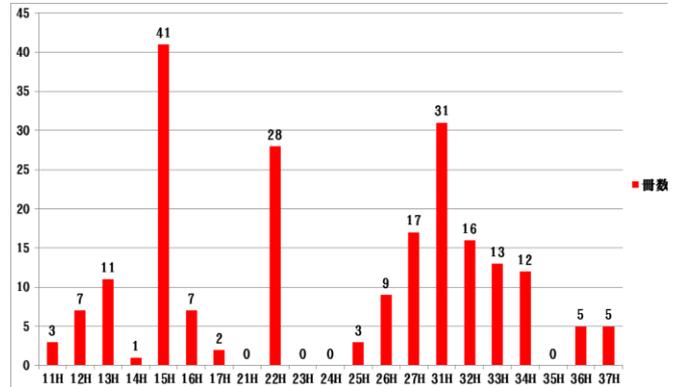
心地よい時間は、あっという間に過ぎていくものです。  
この風を、この日差しを、この花を、もう少し楽しみたい。  
そう思っている、ふと気づけば夏の空気に包まれています。  
寒い冬は惜しむとはいいませんが、春は“惜しむ”。  
惜しまれるほど愛されているのです。  
時間を大切に、有効に使って読書はいかがですか。  
気持ちの良い季節に、あたたかい図書室へ来てくださいね。



(『話したい、使いたい 心ときめくことばの12か月』参照)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

### 4月のホーム別貸出冊数



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

※ 返却忘れの本が手元にありませんか？確認をしてみてください。

## 令和元年度 図書委員会 役割分担紹介

- 委員長 大洞 花笑 (31H)
- 副委員長 小西 清香 (31H)
- 副委員長 櫻井 初実 (22H)

- 広報係  
鈴木 楽 (11H)  
岸田 華実 (11H)  
田賀 美咲 (17H)  
宮本 菜摘 (17H)  
櫻井 初実 (22H)  
上田 湧介 (22H)  
中谷 聡志 (23H)  
平松 克彬 (23H)  
角谷 直人 (26H)  
瀬 元太郎 (26H)  
山崎 優名 (27H)  
本田 灯 (27H)  
石田 佳澄 (35H)  
鶴越 瑠凧 (35H)

- 講座係  
小田原千裕 (13H)  
川越 琉雅 (13H)  
高谷 竣介 (14H)  
西川 諒 (14H)  
小倉 譲 (15H)  
杉原 巧真 (15H)  
木村 桃香 (25H)  
経塚 袖花 (25H)  
大洞 花笑 (31H)  
小西 清香 (31H)  
高木 恋 (34H)  
諸江 優衣 (34H)  
白石 響 (36H)  
山口 夏歩 (36H)

- 展示係  
中野 里菜 (12H)  
吉岡 茉那 (12H)  
高林 広騎 (16H)  
藤原優一郎 (16H)  
崎村 七瀬 (21H)  
林 美慶 (21H)  
坂井 亜衣 (24H)  
武田 陽和 (24H)  
角谷 優衣 (32H)  
西村 優香 (32H)  
島田 拓弥 (33H)  
山田 伊吹 (33H)  
今井 慎吾 (37H)  
出口 龍空 (37H)

1年間よろしくお願ひします。

### 委員活動

学校図書館は、学校の勉強や部活動に必要な図書や資料を集め、それを整理して学校全体の人々に利用してもらおうサービス機関です。図書委員は、こういう図書館の役割を生徒の立場から理解し協力します。主に毎日のカウンター業務のほか、右記の係に分かれ、それぞれ活動します。



### 図書室の利用

利用時間  
8:15~16:45  
貸出期間  
1週間 2冊まで  
カウンターにて貸出処理・返却はBOXへ。延長可。予約もできます。図書室に入れてほしい本はリクエストしてください。資料を探すお手伝いや、本の取り寄せもできます。何でもきいてください。

### 垣坂達行先生(理科)

#### 「図書館戦争」 有川浩著

大学生の時にハマった本です。内容も読みやすくて面白く、人間模様と本との関係性にストーリーがあっておすすめです。これを読んだ後は、別の有川作品も読んでほしいと思います。

## 新任の先生が 紹介する好きな本 ・ おすすめの本

(未所蔵の資料もありますが、  
所蔵・収集予定です。)

図書室展示・サインージでも紹介します。

### 北川博勝副校長先生

#### 「ジョコビッチの生まれ変わる食事」 バク・ジョコビッチ著

食物アレルギーのあるテニス界の絶対王者が、何を、どう食べたらいいのか？わかりやすく解説しており、「体が発する声に耳を傾けてほしい」という言葉が印象的な本である。

### 北村幸恵校長先生

#### 「わたしを離さないで」 カズオ・イシグロ著

近未来の架空の寄宿舎を舞台に、子どもから大人へと成長していく主人公キャシーと友人のルースやトミーたちの姿が描かれる。友人との楽しいひととき、仲たがい、美しい自然、自我の目覚め、初恋…。一見ありふれた日常のように思えるささやかな出来事やかすかな心の揺れを読み取っていくうちに、しだいに主人公たちの背負っている苛酷な宿命が理解されてくる。ノーベル賞作家カズオ・イシグロの筆致は、どこまでも静謐で、誠実。主人公たちが、不思議なほど自分にとって身近な存在に感じられる。フィクションだとわかっている、読み終わって何年経っても、心に温かな思い出と痛みが残り、キャシーたちを忘れることはない。

### 石田絵里先生(国語)

#### 「嘘つきアーニャの真っ赤な真実」 米原万里著

プラハの物語。共産主義とか社会主義とか戦争とか、よく分からなくても何も知らなくても楽しめる。国と時間を越えて面白いと思える作品。

### 瀧陽一郎先生(数学)

#### 「数学ガール」 結城浩著

数学が趣味の高2の僕が、友人たち4人と高校数学の延長から超難問まで様々な問題を解きながら、数学の世界を旅していく。全6巻はやや難しめですが、中高生向けの「数学ガールの秘密のノート」シリーズ(10巻)やコミック版もあり、数学好きな人にはお薦め。

### 永村静子先生(数学)

#### 「さるのこしかけ」 さくらももこ著

ご存じ「ちびまる子ちゃん」の作者さくらさんのエッセイです。短編で読みやすく、ただただ笑える！もう10年以上も前に読んだ本ですが、その面白さに感激し、生涯忘れない1冊となっています。お気軽に笑いが手に入りますぞ(^v^)。オススメです！

### 河口太先生(英語)

#### 「氷点」 三浦綾子著

私はあまり小説には興味はなかったのですが、妻が読んでいたこの「氷点」をたまたま手に取ったのがきっかけで三浦綾子のファンになりました。この小説の舞台になっている北海道の旭川に2度訪れたことがあるため、情景を浮かべながら、一気に読んだと記憶しています。養子として辻口家にもらわれた純粋無垢な陽子が健気(けなげ)に母、夏枝のいじめを乗り越えようとすればするほどなんともいえない気持ちになりました。「こんな設定、ありえない。」と思いつつも「この環境でこの立場なら自分にもこういう気持ちが生まれるかもしれない」と考えさせられる一冊でした。

### 前坂健男先生(音楽)

#### 「下町ロケット」池井戸潤著

第145回直木賞を受賞した小説で、2015年にはTBS系でテレビドラマ化された。小説も良いですが、できたらDVD-BOXで鑑賞してみてください。仕事への取り組み方がわかります。

### 中山由紀先生(実習)

#### 「カブキブ！」 榎田ユウリ著

「歌舞伎大好き！」な主人公来栖黒悟。高校に入ったら部活で歌舞伎をやりたい！という思い一心で「カブキブ(歌舞伎部)」を設立していきます。前途多難な「カブキブ」ですが、主人公の歌舞伎愛や決してあきらめないひたむきさに周りが集まり始める…。歌舞伎を知らない高校生でもわかりやすく、テンポよくポップに進んでいく作品に必ず惹き込まれます！

#### 「万能鑑定士Qシリーズ」 松岡圭祐著

「面白くて知恵がつく人の死なないミステリー」(9巻は映画化)若く美人だが天然系のヒロイン凍田莉子がロジカルシンキングを駆使して膨大な知識を武器に、どこか頼りない記者小笠原と共に難事件を解決していく大人気ライトミステリーシリーズ。金沢工業大学の入試にも採用されました。莉子がとても魅力的ですし、試練を乗り越える凄さとともに体験すれば人生を乗り越える知恵がつくかも！